

令和5年3月  
第2回清水町議会定例会一般質問事項

質 議	問 席	者 氏	質 問	事 項
2		田村幸紀	1	<p><b>社会情勢の変化と時代の潮流に即した総合計画の 実行手段について</b></p> <p>第6期総合計画が令和3年4月にスタートし、2年が経過し、4月から3年目に突入する。計画策定時には町民2,000人の無作為抽出による住民協議会を発足し、まちづくりを自分ごとと捉え、地域課題を生活者視点で議論されてきた。</p> <p>10年後のまちのミライ予想図である総合計画の着実な実行には、昨今の物価高騰をはじめとする社会情勢の変化や行政執行状況と限りある財源状況を総合的に鑑み、年々アップデートさせていかなければならない。</p> <p>また、総合計画の基本理念のひとつ「強みを活かして課題を克服する」という点でも、現状を的確に捉えられるだけでなく、進むべき方向を予測した戦略改革を行わなければならないと考える。</p> <p>さらに、地域課題との同時解決で地方創生を実現する手段として、限られた財源の他に、現存するあらゆる制度仕組みを活用し、いかに財源を獲得するかということも重要な要素であると考え</p> <p>る。</p> <p>次の3点について伺う。</p> <p>(1) 2年間のめまぐるしい社会情勢の変化の中で、まちの課題やあるべき姿はどのように変化し、その解決策を総合計画の実行と共にどのように講じてきたか。</p> <p>(2) 官民共創でまちの課題解決に向け、資金や仕組みを生み出す企業版ふるさと納税や、寄附金がふるさと納税の対象となるガバメントクラウドファンディングの実施について、現状の取り組みと今後の展望を伺う。</p> <p>(3) 今後も住民協議会による議論を積極的に実施してはどうか。</p>

質 問 者	質 問 事 項	
議 席	氏 名	
9	佐藤 幸一	<p>1 妊婦及び乳幼児を持つ家庭へのタクシー乗車券の交付について</p> <p>妊婦の緊急時の移動、また乳幼児を持つ家庭が、急な発熱等で通院するなど突発的な外出にかかる身体的、精神的な負担軽減を図るためタクシー乗車券の交付を行う事業に取り組んでいく考えはないか伺う。</p>

質 問 者	議 席 氏 名	質 問 事 項
5	中河つる子	<p><b>1 物価高騰の中、町民の生活をどう守るか考える時ではないか</b></p> <p>食品や電気代など、生活必需品を中心に物価が高騰している。特に子育て世帯、年金生活者には生活必需品の家計に占める割合が高く、生活を直撃している。</p> <p>今、町民の生活をどのように守るか対策として子育て世帯、非課税世帯への支援を考えるときではないか。</p> <p>町長の考えを伺う。</p> <p><b>2 高齢者の外出を支援する無料バスの運行を</b></p> <p>コロナ禍の中、外出を控えて家にひきこもりがちだった高齢者が外へ出て他人と交流したり、体を動かしたりし、健康な生活を維持することが望まれている。</p> <p>そのため、健康体操、サロン、老人クラブなどへの参加のため、必要な人へ無料のバスを運行したらよいのではないか。</p> <p>町長の考えを伺う。</p>

質	問	者	質	問	事	項
議	席	氏	名			
1	山本奈央	1	本町におけるコロナ対策について	<p>発生から3年が経ちマスクもようやく外せるような状態になって一安心しているところだが、発生から3年余りの本町におけるコロナ対策について伺う。</p> <p>(1) ワクチンの町民への供給状況、医療機関との連携など、実施した対策とその評価について伺う。</p> <p>(2) 超過死亡数とは、過去の死亡統計や高齢化の進行から予想される死亡者数と、実際の死亡者数を比較した数字であるが、本町における過去5年間の推移について伺う。</p> <p>(3) 子どもたちへのワクチン接種に対する本町の基本的な考え方について伺う。</p>		

質 議	問 席	者 氏 名	質 問 事 項
3		只野敏彦	<p><b>1 除雪について</b></p> <p>高齢者、高齢者世帯に対する除雪のケアはどう対応されているのか。大変だという声も聞く。</p> <p>また、角地の高齢者の方は雪が重く、大変だと言っている。長年解決しない問題であって、無理だとあきらめている声を聞くが、除雪のレベルアップでなんとかならないものか。</p> <p>小学生の通学路も歩道の除雪がなされておらず、車道を歩いて通学しているという話も聞くが、対応について伺う。</p> <p><b>2 廃業した駅前ホテル跡の対応について</b></p> <p>駅前のホテルが廃業して、かなり年数が経つが、最初のころは何とかしなければという声もあったと思うが、進捗状況を伺う。</p> <p>また、今後取り壊して旭川の事例のような商業施設を作るなどの考えはないか。</p> <p><b>3 ふるさと納税について</b></p> <p>ふるさと納税の寄附の獲得と拡大のために泉佐野市や別海町のような方式をとっていく考えはないか。</p> <p>今、全国で総額 8,300 億円を超えており、コロナ禍の巣ごもり需要で今年度は 1 兆円も超えるのではとも言われている。</p> <p>十勝管内では上士幌町が有名で、寄附金を活用し子育てや教育の支援に力を注いで人口増にも寄与した。</p> <p>多くの自治体で様々な取り組みを行っている。</p> <p>本町も研究し、ふるさと納税の寄附の拡大に動いていくべきではないか。</p>